

報道関係各位

2023年5月26日
SCプレスリリース2023第7

日本ショッピングセンター協会 第51回定期総会及び創立50周年記念式典 開催報告

一般社団法人日本ショッピングセンター協会(会長:清野 智)は2023年5月23日(火)、東京都千代田区のホテルニューオータニにて「第51回定期総会」を開催し、2022年度事業報告、2023年度事業計画などについて審議いたしました。

定期総会後には、「協会創立50周年記念式典」を開催し、「2022年度SC学校通信教育講座 学校長賞」「第9回日本SC大賞・第7回地域貢献大賞」「50周年功労者」の表彰式を執り行いました。

開催結果につきまして、以下のとおりご報告いたします。

記

1. 2023年度協会基本方針(抜粋)

2020年度に端を発するコロナ下において、巣ごもり消費や在宅勤務といったデジタル技術を活用した非対面型の生活様式が伸展を見せたが、2022年3月に行動制限が解除された以降は、多くの人々が外出先で交流を楽しむ姿がみられるなど、対面で交流することの価値が改めて見直されている。このようなコロナ下での状況変化を踏まえ、リアルな交流の場を持つSCは、商品購買の場という従来の枠組みを超えて、生活者の日常に寄り添い、その暮らしをより豊かにすることが重要となる。

こうした観点から、当協会では、顧客サービスの向上およびSCに携わる方々の働き方改善に繋げるべく、SC業界のDXへの取り組み支援を進めてきた。これらの流れを強化すべく、2023年度は、リアルな施設に求められる「ウェルビーイング」や持続可能社会への貢献に向けた「カーボンニュートラル」といった、会員企業が顧客サービスを高めるために継続的に行う取り組みを軸にして、次世代SCを担うマネジメント人材の育成や日々の実務課題を相互に解決するための会員ネットワーク構築を推進する。

主な取り組みは以下、5項目である。

- ① お客様とSCで働く人々双方の豊かな暮らしの実現に向けたウェルビーイングの追求
- ② 次世代のSCを担う人材の育成
- ③ 実務者間のネットワーク構築
- ④ カーボンニュートラル達成に向けた取り組み
- ⑤ 喫緊の課題に対する国等への機動的な対応



※お手数をおかけ致しますが、掲載紙・誌をお送り
くださいますようお願い申し上げます。
掲載部分をFAX等でお送りいただいても結構です。

2. 2022年度SC学校通信教育講座 学校長賞

SC開発講座	岩崎 千晶	仙台ターミナルビル(株)
SC管理運営講座	石田 加奈子	仙台ターミナルビル(株)



【参考】SC学校通信教育講座について

SC学校通信教育講座は、「SC管理運営講座」(1975年開講)、「SC開発講座」(1984年開講)の2種類があり、SC業務歴1～5年目の方を対象として、SCの管理運営および開発の基本を理解し、体系的に学べるプログラムとなっています。毎年、各講座の修了者の中から最優秀者を選出し、「SC学校長賞」として表彰しています。

詳しくはこちら https://www.jcsc.or.jp/sc_education/tsushinedcation



3. 第9回日本SC大賞・第7回地域貢献大賞

(1)第9回日本SC大賞

金賞／経済産業省商務・サービス審議官賞「新静岡セノバ」(静岡県静岡市)



中心市街地の新たな魅力創出と街づくりに貢献するため、2011年10月に開業。2021年で10周年を迎えた。静岡鉄道の発着駅で、新静岡バスターミナルを併設する。前身は1966年開業の「新静岡センター」。特筆すべきは「トライ! はたらく時間 PROJECT」で、SC業界の営業時間・休館日の見直しをリードし、働き方改革やES改革、不足する人員問題に一石を投じている。これは店頭の販売員が健康的に働くことができる環境を整え、持続可能な社会を築くための第一歩であり、出店テナントだけでなく、他の商業施設や専門店の間でも共感の輪が広がっている。地域支援という点では、地元企業を発掘し育てる「起業のつばさプロジェクト」を実施。他SCに出店できるまで成長した企業も生まれた。また、コロナ禍に「ガンバロウ シズオカ!」を提案し、静岡名産の乾物店や苦しみ地域の飲食店に月替わりで区画を提供した。さらに地域産業支援として「茶祭」を計画するなど、単なる販売支援ではなく「新しいお茶のある暮らし」を提案している。ES施策では、ビジネスチャット「direct」を導入。営業時間外の災害時の安否確認、開閉館時間の連絡、一斉伝達などに役立っている。また保育施設を開設して約30人の子どもを預かり、スタッフの雇用を後押ししている。サステナビリティへの取り組みでは、壁面緑化、屋上緑化、井水使用の空調設備、EV充電器の無料提供などを実施している。自衛消防隊が機能するように防災訓練を年30回以上実施。さらには全国のSCが参加できるディベロッパ―従業員向けの静岡合宿(教育研修)を実施して、人づくり、ネットワークづくりを行っている点も評価できる。

賞名	SC名	所在地
銀賞	ELM(エルム)	青森県五所川原市
銅賞	MARK IS みなとみらい	神奈川県横浜市
ニューフェイス賞	グランバリーパーク	東京都町田市
リノベーション賞	スマーク伊勢崎	群馬県伊勢崎市
ES賞	ピオレ姫路	兵庫県姫路市
特別賞	VISON(ヴィソン)	三重県多気郡多気町
50周年記念特別賞	渋谷PARCO	東京都渋谷区

(2)第7回地域貢献大賞

地域貢献大賞(倉橋良雄賞)／国土交通省都市局長賞

「SAKURA MACHI Kumamoto(サクラマチ クマモト)」(熊本県熊本市)



旧熊本交通センターと県民百貨店の建て替えにより誕生した、ホール、ホテル、マンション、オフィス、結婚式場を備える複合型商業施設で、バスターミナルも併設する。飲食系店舗を約半数導入し、アパレル、各種雑貨、シネコンなどの幅広い業種を揃えて、さまざまな年齢層のニーズに対応している。地場企業を積極的にテナント誘致するほか、行政関連施設、医療施設、保育施設、旅行窓口など多様な生活サポート機能を備えている。一年を通じて緑あふれる常緑樹、四季折々の表情を出す落葉樹や地被植物の花々など200種以上、3,000本・株以上の植栽で、屋上緑化を行

うとともに各フロアに屋外デッキを設置することで、多くのレストスペースを設けてゆったりくつろげるスペースを提供している。建物は耐震性を強化。帰宅困難者対策として1万人規模の避難受入可能な食糧・飲料水を備蓄するなど防災拠点として地域インフラの中心的役割を担っている。旧熊本交通センター解体時に熊本地震が発生するなど、同SCは復興に向けたシンボルとしての期待も大きい。交通の要衝という立地から、大型商業施設だけでなく、地域の商店街、熊本城をはじめとした観光施設、地域産物など、地域ブランド形成のための情報発信、交流イベント、地域住民やエリア訪問者の利便性や快適性を重視したハード・ソフトの取り組みが展開されている。

賞名	SC名	所在地
地域貢献賞	イオンモール苫小牧	北海道苫小牧市
	イオンモールいわき小名浜	福島県いわき市
	ビナウオーク	神奈川県海老名市
	カラフルタウン岐阜	岐阜県岐阜市
	アリオ八尾	大阪府八尾市
	イオンモール高知	高知県高知市

(3)支部特別賞

賞名	SC名	所在地
北海道支部特別賞	東武サウスヒルズ	北海道標津郡中標津町
東北支部特別賞	キャッセン大船渡	岩手県大船渡市
関東・甲信越支部特別賞	コクーンシティ	埼玉県さいたま市
中部支部特別賞	イオンモール白山	石川県白山市
近畿支部特別賞	京都ポルタ	京都府京都市
中国・四国支部特別賞	さんすて岡山	岡山県岡山市
九州・沖縄支部特別賞	JR博多シティ	福岡県福岡市

【参考】日本SC大賞・地域貢献大賞について

協会創立30周年を記念して、これからのSCのあり方を示唆し、社会的役割を果たしているSCを顕彰し、SC業界の一層の発展に寄与することを目的として2004年に「日本SC大賞」を創設。また、当協会が策定した「地域貢献ガイドライン」(2007年1月)をもとに、地域活性化に取り組み、地域のコミュニティの核として地域住民の生活に欠かせない地位を築いているSCを表彰する「地域貢献大賞(倉橋良雄賞)」を2008年に創設しました。

※故・倉橋良雄氏

倉橋良雄氏は、1962年に欧米視察に訪れるなど早い時期からSCの研究に着手。日本初の本格的な郊外型SCである「玉川高島屋ショッピングセンター」(1969年開業)の開発に携わりました。当協会の前身である、「ショッピングセンター研究会」を発足し、その後、当協会の立ち上げに尽力され、1989年5月に第2代会長に就任。SC業界および協会の発展に尽力された功績は大きく、特に、「SCは、地域に根ざした施設であり、地域社会・地域住民との協調なくして成功はない。また、SCの成功は地域発展を促進するなど、地域貢献に寄与する」と常々提唱し実践されました。2003年8月死去。

詳しくはこちら <https://www.jcsc.or.jp/sc-support/scawards>



詳しい結果・推薦理由等は下記をご覧ください。

第9回日本SC大賞・金賞は、『新静岡セノバ』 第7回地域貢献大賞(倉橋良雄賞)は、『SAKURA MACHI Kumamoto』に決定(2023年4月27日付)

https://www.jcsc.or.jp/wpjcs/wp-content/uploads/2023/04/SCPR2023_2_1.pdf



日本SC大賞



地域貢献大賞



支部特別賞

4. 50周年功労者

(1) 功労者

氏名・企業名	協会における役職等(4/26時点)
越村 敏昭	前 会長
安藤 正	元 副会長
青柳 雄久	前 副会長
竹内 彰雄	前 副会長
福田 三千男	副会長
棕本 充士	副会長
古屋 雅弘	前 専務理事
山中 拓郎	総務・会員委員会委員長
高野 稔彦	デジタルトランスフォーメーション委員会委員長
山田 宗司	前 調査研究委員会委員長
大津 武	全国大会実行委員会副委員長
小原 能和	接客ロールプレイングコンテスト実行委員会委員、 東北支部運営委員、SC経営士会幹事・東北ブロック長
木村 順一	全国大会実行委員会リーシング小委員会委員
小嶋 彰	情報委員会副委員長、調査研究委員会委員
田部井 一哉	全国大会実行委員会委員／元リーシング小委員会委員、 SC経営士会業務・広報グループ長等
筒井 光康	人材育成委員会小委員会委員／接客ロールプレイングコンテスト実行委員会小委員会委員
道古 健一郎	情報委員会副委員長等
服部 朗彦	全国大会実行委員会委員／リーシング小委員会委員
藤山 正道	人材育成委員会副委員長等
松井 久子	前 接客ロールプレイングコンテスト実行委員会 副委員長等
松野 宏	SC経営士会副会長、関東・甲信越支部運営委員、 旧SC経営士委員会委員
山本 敬二	近畿支部副支部長
若宮 淳子	人材育成委員会委員
和田 剛	関東・甲信越支部運営委員、全国大会実行委員会委員／リーシング小委員会委員
織研新聞社	—

(2) 特別功労者

(氏名五十音順)

氏名	協会における役職等(4/26時点)
飯嶋 薫	理事、全国大会実行委員会委員長
大甕 聡	元 専務理事、元 SCアカデミー指導教授、 前 SC経営士会会長
蟹瀬 令子	理事、情報委員会委員長
高橋 祥元	顧問、元 副会長

(3)50周年感謝状

(会員種別企業名五十音順)

企業名	会員種別
イオンモール(株)	第一種正会員
イオンリテール(株)	
片倉工業(株)	
(株)錦糸町ステーションビル	
(株)京阪流通システムズ	
神戸地下街(株)	
(株)サンシャインシティ	
新都市センター開発(株)	
住友商事(株)	
(株)セブン&アイ・クリエイトリック	
(株)相鉄ビルマネジメント	
(株)そごう・西武	
(株)ダイエー	
(株)大丸松坂屋百貨店	
東急(株)	
東急不動産(株)	
東神開発(株)	
阪急電鉄(株)	
(株)平和堂	
三井不動産(株)	
(株)三越伊勢丹	
(株)ルミネ	

企業名	会員種別
(株)アイリスメガネ	第二種正会員
(株)キタムラ	
(株)グルメ杵屋	
(株)鈴乃屋	
(株)チヨダ	
(株)三峰	
(株)三松	
(株)やまと	
(株)ワシントン靴店	
(株)船場	
(株)竹中工務店	
野村不動産コマース(株)	



功労者／特別功労者



50周年感謝状